

シラバス情報

1 ページ

科目情報

科目名称	地域で取り組む生物多様性保全・外来種防除のとりくみ (地域実践演習)	配当年次	1	授業コード	A220230005		
開講年度	2017	単位数	2.0	開講時期	後期授業	科目分類	教養科目

代表教員情報

(カナ) 教員氏名	(ウエダショウヘイ) 上田 昇平
--------------	---------------------

担当教員情報

上田 昇平	
平井 規央	

時間割情報

金曜3コマ	B3-313		

メールアドレス等連絡先

オフィスアワー

	月曜日12:10~12:55
--	----------------

授業目標

日本は南北に長い弧状列島であり、複数の気候区分、湿潤な気候などの影響から生物多様性の世界的ホットスポットと称されている。しかし、この高い生物多様性は人間活動に伴う開発の影響から消失の危機にあり、近年では特に、人間が持ち込んだ「外来種」との競合によって多くの在来種が絶滅の危機にあるとされている。本授業では、1. 外来種が生物多様性におよぼす影響に関する基礎的な事項を学ぶとともに、地域住民と共同で堺市内の生物調査を実施し、外来種の分布の実情を探る。さらに、2. 調査を通じて生物多様性の向上や外来種の防除についての普及啓発や考察を行うことを目標とする。

教科書

必要に応じて、資料を配付したり、文献、テキストを提示する。

参考書

水辺環境の保全, 江崎保男・田中哲夫編, 1998年, 朝倉書店, 5800円
ため池の自然, 浜島繁隆ほか編, 2001年, 信山社サイテック, 2500円
アリ類ハンドブック, 寺山守ほか編, 2009年, 文一総合出版, 1512円

関連科目

--

授業時間外の学習

重要項目の確認、課題への対応

授業概要

本授業では、外来種問題、生物多様性、絶滅危惧種、ビオトープなどについて学び、生物多様性保全のための外来種防除に関する基礎的な知識を身に付ける。学内とその周辺の緑地や水域で実習を行い、生物調査の基礎的な技術を身に付ける。地域住民と協同で生物調査や意見交換を行い、生物リストを作成して外来種防除における問題点を明らかにするとともに、地域の緑地公園・ため池が生物多様性保全にどのように貢献しているか考察する。

成績評価

授業目標（達成）度で成績評価を行う。C（合格）となるためには達成目標1、2の項目で基本的な内容を理解し、レポートを書けることが必要。原則として10回以上出席※した者を対象として、平常点50点、レポート50点、合計100点満点で成績評価を行う。欠席する場合は「欠席届」を提出すること。
※30分以上の遅刻は欠席とみなす。

備考

「地域実践演習」の履修には、学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険（羽曳野キャンパスの学生はWi12に加入）に加入することを条件とします。
学生課学生サポートグループ（羽曳野キャンパスは事務所・学生グループ）において手続きしてください。

URLリンク

URLリンク 1

URLリンク 2

URLリンク 3

授 業 計 画

授業計画 第1回	概要の説明 地域と生物多様性	準備学習	重要項目の確認、課題への対応
授業計画 第2回	現地調査 水生動物の観察1	準備学習	重要項目の確認、課題への対応
授業計画 第3回	現地調査 陸上動物の観察1	準備学習	重要項目の確認、課題への対応
授業計画 第4回	現地調査 水生動物の観察2	準備学習	重要項目の確認、課題への対応

授 業 計 画

授業計画 第5回	現地調査 陸上動物の観察2	準備学習	重要項目の確認、課題への対応
授業計画 第6回	現地調査 アリ類、土壌動物の観察1	準備学習	重要項目の確認、課題への対応
授業計画 第7回	現地調査 アリ類、土壌動物の観察2	準備学習	重要項目の確認、課題への対応
授業計画 第8回	現地調査 鳥類の観察1	準備学習	重要項目の確認、課題への対応

授 業 計 画

授業計画 第9回	現地調査 鳥類の観察2	準備学習	重要項目の確認、課題への対応
授業計画 第10回	地域住民の外来種防除に関する活動紹介	準備学習	重要項目の確認、課題への対応
授業計画 第11回	行政の外来種防除に関する活動紹介	準備学習	重要項目の確認、課題への対応
授業計画 第12回	昆虫、水生動物の同定法1	準備学習	重要項目の確認、課題への対応

授 業 計 画

授業計画 第13回	昆虫、水生動物の同定法2	準備学習	重要項目の確認、課題への対応
授業計画 第14回	パソコンを用いた生物図鑑の作成	準備学習	重要項目の確認、課題への対応
授業計画 第15回	総括、まとめ	準備学習	重要項目の確認、課題への対応